

サボテン科学研究会を設立(2019年6月)

本学教員を中心にサボテンの研究推進を目的とした研究会を立ち上げました。
世界的なサボテンの研究拠点を目指します。

(目的)

環境ストレス耐性、高い生産性、健康機能性を併せ持つサボテンは食品や環境問題研究のモデル植物として大きなポテンシャルを有している。本プロジェクトではサボテンのゲノム研究、生産性向上及び潜在的機能を発掘するとともに、サボテン加工品開発や研究成果の公開を通じて地域との連携を促進し活性化に寄与することを目的とする。本プロジェクトによる成果は我が国農業の活性化のみならず、植物の環境ストレス耐性向上や食糧増産など地球規模の課題解決に貢献するものである。

(事業)

研究会は次に掲げる事業を行う。

- 一 サボテンのゲノム研究
- 二 不良環境・異常気象耐性遺伝子の解明
- 三 サボテンの育種・栽培研究
- 四 サボテンの機能開発研究
- 五 食料・飼料としてのサボテンの利用
- 六 機能性食品としてのサボテンの利用
- 七 不良環境浄化へのサボテンの利用
- 八 行政及び地域との連携
- 九 その他

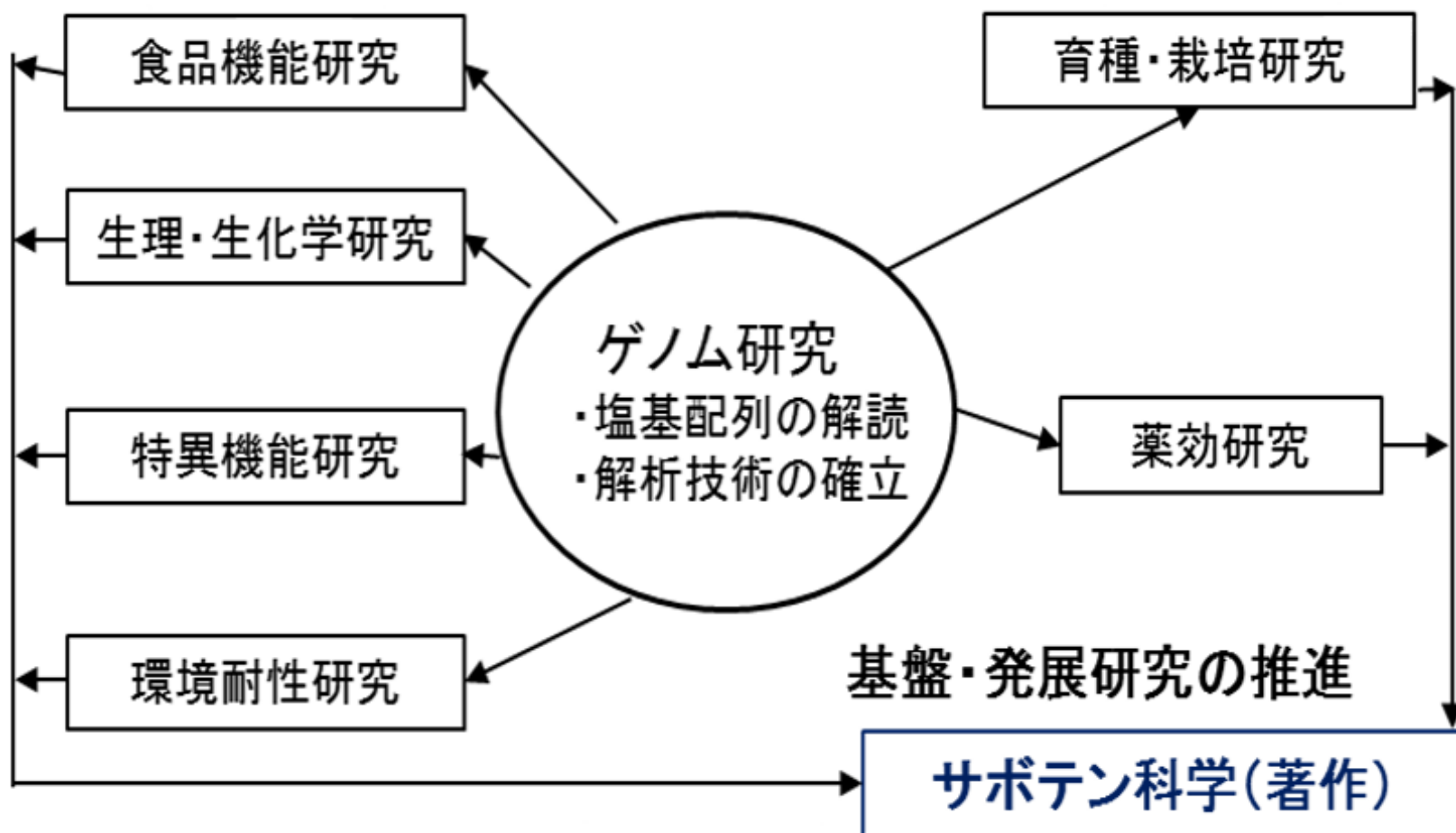
(メンバー)

会長	前島正義
副会長	柘植尚志
実施責任者	堀部貴紀
他、会員7名	※2019年6月時点

世界的にも著名で実績のある先生方
にご参加頂きました。

事業(研究)のイメージ

サボテンの基礎・応用研究の推進を目的とした独自の研究グループを作り、研究成果の公開や普及によって「サボテン科学」の構築や地域との連携推進に寄与することを目指す。

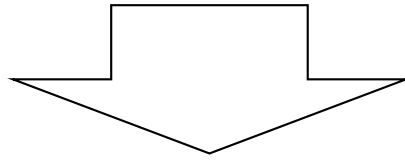


なぜサボテンを使うのか？（研究面の面白さ）

サボテンの研究が環境問題の解決につながる！？

サボテンの持つ驚異的な形質の解明

（耐乾性、高温耐性、形態、進化、重金属耐性、etc・・・）



地球規模の環境問題の解決に貢献しうる。

（環境ストレス耐性、砂漠化防止、汚染の解消、健康機能性など）



生産性・機能性・環境耐性を兼ね備えたモデル植物
産業的価値 & 科学的価値

